

黎明

[illegible]

薬で損なう人体機能

栄養剤 老化、ガンへの道

社会リーダー

「栄養剤は食物の代替品として、人間の体内に不足した栄養素を補うために必要である。例えはビタミンやミネラルなど、不足すると健康を害する。栄養剤の不足は、老化やガンなどの原因となる。栄養剤の過剰摂取は、人体に有害な影響を及ぼす。栄養剤の適切な摂取は、健康を維持するために不可欠である。」



イノシシもよけて通る

有肥田のため防除網張り

自然農法試験田より

「イノシシの被害は、農家の大きな悩みの一つである。防除網を張り、イノシシの侵入を防ぐことが、自然農法の試験田では重要な課題となっている。」

読んだ処だけ試験に

御用実践で御守護数々 西川孝男

おかげ話

「私は、読んだ処だけ試験に、実践で御守護数々。西川孝男。私の経験から、読んだ処だけ試験に、実践で御守護数々。西川孝男。私の経験から、読んだ処だけ試験に、実践で御守護数々。西川孝男。」

交通事故を小

難で救われる

「交通事故は、小難で救われる。交通事故は、小難で救われる。交通事故は、小難で救われる。交通事故は、小難で救われる。」

入信のお蔭で

はねられて無傷

「入信のお蔭で、はねられて無傷。入信のお蔭で、はねられて無傷。入信のお蔭で、はねられて無傷。入信のお蔭で、はねられて無傷。」

御用で数々の御

守護いたたく

「御用で数々の御守護いたたく。御用で数々の御守護いたたく。御用で数々の御守護いたたく。御用で数々の御守護いたたく。」

御用励めば学

業成績上がる

「御用励めば、学業成績上がる。御用励めば、学業成績上がる。御用励めば、学業成績上がる。御用励めば、学業成績上がる。」

決意示す

「決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。」

「決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。」

「決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。」

「決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。決意示す。」

香取り線香の形だけについて燃えずに、十分燃められる。



2人の子、学鍊参加中のお蔭

[illegible]

海道

夕立去り城址の松のしづく誘き
涼風立つ御苑の人も木も歡喜
いふし衆のような加茂御子神の灯は

萬國規模の巨口水にも及つてゐる
 陶器製何々々々の茶碗置
 信心の酒桶師と法師
 炎天の霞見ゆるより風巻
 防波堤つづき長屋の町並
 細き道ゝ子が禁林へ仁王立
 夫の父兄のせむけにぞ撫さる
 出の待ちし句巻の紙巻や幾まつる
 夕されば菊盆に坐つて小瓶飛ぶ
 秋立ちて松の木末の空をすす
 朝も夜も命由だつてくまなる
 陶器に今日も泣くくまなる
 陶器に師士を出づ身を旅し

森本 剛子
小沢 鮎三
中川 さち
田原 さゆ
賀集 恭子
奥田マリエ

雷雲の去りたるあと、の空白
雷鳴と雨とはけしつゝ清めあ
る。天下調略に聞き入る者若
者、若者が汗ふき清き天竺赤
子の経綫心地よきげに手を
烈風の通りてさ直ぐ伸し、
神廟ですみて涼しくにぎり
しめたる雷雨の響きも心静
神先の清気も風に散みゆけ
夕立過ぐ足にまつはる白い

坂本 卓也
渡壁 一大郎
郡司 島 草
山田 綱代
山口 秀夫

久に思ふ程の風の味はりて
 夕立後の御所の風情の趣し
 青剛天に止り光をさしつゝ
 夕詠みは一心に心はパールな
 空清き船風の道を朝洋へ
 秋草のしとに隔れて心清く
 日夏にうつるをてて来し心

疑いながら、お救いまで

川畑トシ子

「一年か、更に入札の希望を
いたがさ、儲けの程で二、三は
す。」

私は御浄土をいたいても、御
取の時もそんなことで何れが有
るかも知れない。私には気が
ずいぶん減った。私は四、五
年振りに再興の田舎へ歸つてい
ます。まずまづなくてはならぬ

とが一番を願ひ、また人にも
酒といふまで。ちよと二年間
夫婦が出た時、早速と
いふをしたのだが、ここぞ
はうしたのか。阿頼磨きがね
え、まずまづなくてはならぬ

買ひ当るといふので、密に
るところを待つない様になりま
した。あまり多額の御金を手放
すと云ひ、私に相談し手続
を急ぐが秘蔵より、切つたな
がい、いかも知らないと言つてくれ
ましたので、何処の病院にしま

人の介で言ふが、その又路に逢ひては、番の師の男のす所、御邊に居てもたが師知れ白の人だから仕方な、師を説いたのだ状で、私のこと手解るとしても、もの思へつつも仕を聞かぬが本ツと

[illegible]

睡眠薬
救われ

睡眠薬中毒
救われる

市びて山道1人
青木先生の夢に励まされ馬

市びて山道1人
青木先生の夢に励まされ 馬着みさ子

でいたかくよになりました。

つていました。それほど遠く、神々しく思ったのです。翌日は稀ひもうすれ、一週を除いてない部屋をおさんでん

イヤな薬の臭いもがすにすむと心から安心したのを覚えています。姉が肩こりに御浄温をしてくれと申しますので、初めて御浄温

りましたが、当時は長い間お
する機会がなかったのです。
つが、私が注射をしてもらっ
たの外へ出た時、ばったりと

遠いところへ送られても、もう腫瘍薬の常
められている私には、それを
生にお話する勇氣はありません

たかとうと思つて、不思議に
安らがになつて前の様に床の
苦しむことがなくなりました
してそのつきの日は不思議に

[illegible]

不便ではあるが光をま配つて歩くのが私の使命と見て、これなら雪中、風の吹く中を歩かなくてかゝり廻ります。家路の者もすべてこの御守護をいたしたく、その御恩をにも、くじけてはごまめと決心致しました。

四十五、五月、千四百廿
あすは勢動用の日、昨夜から
静寂にふし氣あり、今日
は日束のちに過しました
事は無事過ぎて驚きません
とぞ、罪罰の挂をきしい
ないたゞ、氣が少しよに
なり、思ひ出まきベンを
せました。

神様有難うございました。

「さうか、何い、局々笑ひながらまた疑ひ探つて居ます。その淨潔に治るには妙く思ふていません。たゞ一面のお救ひを乞ひて置つたとはいふの、姉の氣のほどと疑ひました。姉の肩こ頭痛と不潔な治してゐたが、ただそれと親類な母でゐたのか、こんなことも言いました。姉がいろいろ調度で買し入れている

「私は高血圧で長い間病院をしておりましたが、少しもよくなりました」とお話しした。そこではじめて御清恵の病名を知った。それ以来、私は長い間の信仰を持っており、薬に依拠しようと思わなかった。そのとき、私は福知山に長く住んでいたのである。たまたまは歩くこととて、

[illegible]

「なに有難く思つております。
またまだ二人歩この園に
私どもで、先生の御世話を
こそも多い存じます。先生は
希望が、喜びの心になき意
ました。いつまでもお慰め
お喜下さいますよう、朝に
神様にお願いし、感謝の日
しております。

（日……）
神様、明主様有難うござ